

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	盛岡市観光審議会事業			事業コード	1547
担当課等	所属名	商工観光部 観光課	担当係名		
	課長名	村山悦男	担当者名	佐々木 伸司	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	活力ある産業の振興	コード 5	施策	地域資源をいかした観光・物産の振興	コード 4
	基本事業	観光交流の推進	コード 2	関連予算 費目名	一般会計 7款 1項 3目 観光施設整備事業(001-01)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度			⇒(開始年度 38年度～)		
事務事業の概要	市長の諮問機関である「盛岡市観光審議会」の運営事務					
根拠法令等	盛岡市観光審議会条例					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
観光に関し、必要な事項を調査審議するため、市長の諮問機関として「盛岡市観光審議会」が設置された。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
<p>社会が成熟化し、団体型観光、通過型観光から個人型観光、滞在型・体験交流型観光へのシフトなど、観光・レクリエーションのニーズやスタイルが多様化する一方、外国人観光客の増加など観光客の受け入れに新たな展開が見られる中で、盛岡の歴史や自然、文化、先人、まちなみ景観など地域の観光資源を活用した観光地づくりや祭り・イベントの振興、観光の拠点性を生かした広域観光の推進が求められている。</p>						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどうか。今後の見通しはどうか						
<p>本市の観光客入り込み数は、平成15年に上映された映画「壬生義士伝」やNHK連続テレビ小説「どんど晴れ」(19年放映)等による知名度アップの効果もあって順調に増えてきたが、岩手・宮城内陸地震や景気の低迷による影響が大きく、20年以降は若干落ち込んでいる。20年度から26年度までを計画期間とする「盛岡市観光推進計画」を20年3月に策定し、観光施策の展開を図っているが、近年はスキー客の減少や冬場の宿泊客の落ち込みが顕著であり、冬期の観光客の誘客が課題となっている。</p> <p>平泉の世界文化遺産への登録申請や、JRグループ6社による国内最大規模の観光キャンペーンである「デスティネーションキャンペーン」(DC)の開催地域決定(岩手県単独、24年4～6月)などにより、観光客の入り込み数の増加が期待されている。</p> <p>本年3月に発生した東日本大震災の影響により、交通、電力供給等が不透明な状況であり、この先数年にわたって旅行者等の心理にマイナスのイメージが与えられていることが予想されることから、震災の影響を払拭し、改めて魅力を強く発信して観光客を誘致することが求められている。</p>						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	観光振興事業	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 観光振興事業数	単位	件
				B. 観光振興事業費	単位	百万円
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 審議会を開催し、観光振興施策や事業について意見を聴取した。 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 観光振興施策・事業に関する意見聴取、観光推進計画の進捗に関する意見聴取	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 審議会開催数	単位	回
				B.	単位	
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	国内外の観光客の誘致に向けて、関係団体や有識者等の意見が反映された、より効果的な事業を展開する。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 盛岡市への観光客入り込み数 【指標の性格: <input checked="" type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位	万人回
				B. 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位	
				C. 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	観光客などの交流人口を増加させる	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	観光客入り込み数(単位:万人回)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	観光振興事業数	件	16	16	16	16	16	16	24年度 16
対象 指標B	観光振興事業費	百万円	277	273	278	237	226	226	24年度 226
対象 指標C									年度
活動 指標A	審議会開催数	回	2	2	2	2	2	2	24年度 2
活動 指標B									年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	盛岡市への観光客入り込み数	万人回	472	459	466	444	472	478	24年度 478
成果 指標B									年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	277,000	273,000	278,000	237,000	226,276	226,276	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円		11,000	11,000	11,000	10,879	10,879	*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	277,000	256,000	261,000	220,000	212,397	215,397	*****
	⑧その他	千円		6,000	6,000	6,000	3,000		*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	277,000	273,000	278,000	237,000	226,276	226,276	*****
	延べ業務時間数	時間	120	120	120	120	120	120	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	480	480	480	480	480	480	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	277,480	273,480	278,480	237,480	226,756	226,756	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由：審議会の意見等が観光振興施策に反映され、より効果的な事業が展開されることにより、観光客の入り込み数や観光による交流人口の増加に寄与する。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	理由：市の観光振興施策の重要な事項を調査審議するため、市長の諮問機関として審議会を設置しており、市が行うべき事務事業である。 「妥当」とする理由： <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由：審議会の審議事項は市の観光振興施策であり、現状で妥当である。 「妥当」とする理由： <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由：審議会の意見が反映された観光振興施策や事業の展開により、観光客の入り込み数や観光による交流人口の増加がもたらされることから、現状で妥当である。 「妥当」とする理由： <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 向上余地がない	理由：審議の内容を深めるため、会議の開催数や会議時間を増やすこと等が考えられるが、委員の都合や審議時間等の制約があるため、現実的ではない。より広範な意見を聴取するため、公募委員の枠を設けている。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容：審議会を廃止・休止することにより、観光振興施策や事業等に対するチェックアンドバランスの機能が失われる。その結果、観光客のニーズや実態にマッチしない事業が展開される危険性や、観光客の入り込み数や観光による交流人口の増加に結びつかなくなるなどが懸念される。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名：盛岡観光コンベンション協会の各種委員会 ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> できない 理由：審議会は市の観光振興施策の重要な事項を調査審議する市長の諮問機関であり、盛岡観光コンベンション協会の活動等を協議する委員会とは設置目的や趣旨が異なる。
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由：審議会の委員報酬のみを計上しているため。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由：会議準備と会議当日の業務時間のみを計上している。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input checked="" type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由：
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由：審議会の設置・運営により、市の観光振興施策全体に効果がもたらされることから、費用負担の公平・公正が確保されている。

